

パブコメ集計結果(流域圏から地球規模までの様々なスケールにおける水・熱・物質循環
観測研究(水・熱・物質循環))

1. 総数: 1件

2. 賛否について:

○賛成:	0件
○賛成だが施策の改善見直しの意見を含むもの:	1件
○反対:	0件
計	1件

(賛否の考え方)

- ・主旨に賛成の文意を含むものは全て賛成に判定。
- ・「賛成だが施策の改善見直しの意見のあるもの」は基本的には賛成だが、施策の実施にあたっての改善、見直し方策について記述されているものを集計。

(参考)

①賛成

・

②賛成だが施策の改善見直しの意見を含むもの

・施策番号 33(プロセスモデル開発研究)と一体となった研究事業とすべきである。また次世代スパコン事業を切り分けるため、本事業は観測を主体とした研究事業とすべきである。地球をモニターする技術は、一朝一夕には会得することはできません。長い年月をかけて培った技術は、維持することですら大変なことです。費用対効果という側面でみれば、短期的には観測は、大きな経済的損失を生み出すものと思われます。しかしながら地球シミュレーター等スーパーコンピューターの成果はあくまで仮想地球であり、実体のないものであることを理解すべきです。数値計算はあくまで時空間を数字で満たすための道具であることから、検証するためのデータは、スパコンから得られた数字に科学的意味を与えるのに必要不可欠なものです。スパコン事業が国益を生み出すものであるならば、観測はスパコン事業を支える1つの基盤となりえます。類似の研究課題(施策番号 33)については、整理・統合する必要性を否定するつもりはありませんが、観測については一緒に考えないでいただきたいと思います。

③反対

・